

遠隔水位モニタリング装置

# インテグラル 水位計

製品仕様

水位測定レンジ 10、20、35[m] (ご注文時に選択)  
 水位分解能 1[mm]  
 水位測定精度 ±0.1[%F.S] (20℃時)  
 温度測定レンジ -10～+50[℃]  
 温度分解能 0.1[℃]  
 温度測定精度 ±1℃  
 測定間隔 1分～10日 (任意)  
 データ保存数 約50,000  
 ケーブル長 20～150m  
 伝送方式 LTE Cat.1  
 データ通信方式 E-mail方式またはデータサーバ方式

データ伝送間隔\* 5分～10日  
 使用温度範囲 【水位計部】: -10℃～+50℃ (凍結・結露不可)  
 【通信・電源部】: -20℃～+50℃ (凍結・結露不可)  
 電池寿命 約5年 (周囲温度20℃、NTTドコモのLTEサービスエリア内で電波状態が良好 [アンテナ3本表示] でリトライがなく、専用バッテリー[7.2V、14ah] 使用、測定間隔1回/日、E-mail送信のみの場合)  
 ※電波状況、通信条件、測定環境などにより、電池寿命が短くなる場合があります。  
 外形寸法 【センサ部】: Ø25[mm]×290[mm]  
 【通信/電源部】: Ø48[mm]×567[mm] (本体)  
 上部蓋外形: Ø60[mm] (突起部を除く)

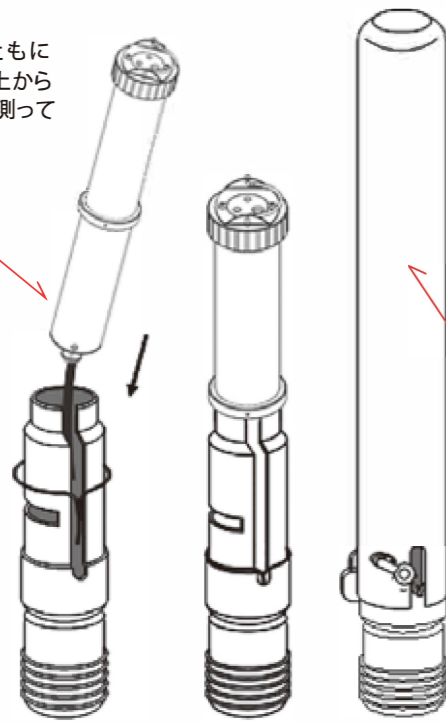
※E-mail方式をご利用の場合には、NTTドコモとプロバイダ契約が必要です。データサーバ方式をご利用になる場合には、別途データサーバの設置が必要です。

※測定時間が短く (例えば1分間隔)、電波状態が悪い場合には、測定が優先され、データ送信間隔通りにデータが伝送されない場合があります。

通信・電源部の設置方法

水位計をケーブルとともに観測孔に挿入。予め地上から地下水面までの深度を測っておく必要があります。

観測孔に設置



キャップ

水位計を観測孔に入れ、オプションのUSBケーブルをPCと接続、コントロールソフトを使って動作確認・各種設定の後にキャップを被せて設置するだけです。余ったケーブルの折返し方法や水位検出部の扱いなどについてはスタートアップマニュアルに記載されています。

スタートアップマニュアル  
がこちらから見れます



遠隔監視に  
必要な機能  
全てを一体化

# 手軽に水位の遠隔監視を実現、防災、農業、環境とあらゆる分野でご利用いただけます。

## インテグラル水位計

遠隔監視に必要な機能全てを一体化した水位計です。携帯回線を利用した水位の遠隔監視ができ、現場に行く事なく、効率的かつ確実に水位観測を続けていくことができます。

### 1. 一体化構造

センサ部、記録部、電源部、通信部が全て一体となったオールインワンの水位計です。

### 2. 小型で設置が容易

センサ部の外形はわずか直径25mm、通信・電源部の外径は直径48mmと小型であり、保護管VP50で容易に設置可能です。

### 3. 全国広域をカバーするLTE網を利用

全国各地の主要都市やその周辺、内陸部まで幅広くカバーするNTTドコモのLTE<sup>※</sup>網を利用して遠隔監視を行えます。

LTE (Long Term Evolution) は屋外での携帯電話使用を想定して作られた通信技術であり、屋外利用でも電波が安定しているのが特長。なかでもOYOインテグラル水位計が採用するNTTドコモのLTEサービスエリアは広域で良質な通信環境を提供しています。

### 4. 設定閾値での警報メール送信可能!

水位が設定閾値を超過した場合、警報メールが送信され管理者に速やかに通知されます。

また、このタイミングで測定間隔の変更が自動で変更可能です。



※農林水産省のため池防災支援システムとの連携が可能タイプもご提供が可能です。

(例) 用水路に設置したイメージ

各パーツとも、長い期間の使用に耐える素材でできており、過酷な条件下での長期運用ができるよう設計されています。

さらに!

長寿命バッテリーで約5年間<sup>\*</sup>の連続観測が可能!  
ソーラパネルも組合せ可能。より簡便に長期にわたる水位遠隔監視が可能に

専用バッテリー(7.2V、14Ah)の利用で、約5年(1時間1回測定、1日1回送信、20℃)の連続観測が可能です。  
※条件によってバッテリーの寿命は変化しますのでご了承ください。